

# SUPER SCOOP1 ホンダ大攻勢

／＼あたりでハイブリッドモデルを送り出す。新世代のハイブリッドシステムは、1・5ℓの新開発エンジンと7速のデュアルクラッチミッションを組み合わせた、そのミッション内にモーターを組み込む新しいもので、燃費はもろろんのこと、これまでのハイブリッドの弱点といわれていた走る楽しさを兼ね備えたスポーティなものとなる。

そして、ライフが10月頃予定されている。本当であれば、今年の春にでも出てくるといわれていたが、燃費対策とNシリーズのひとつのメイン車種に仕上げるために半年ほど遅れそうだった。確かにライフが驚くべき燃費を更新しているだけに、ホンダとしても負けられないということだろう。ただし、新情報によれば、アルトエコには届かない可能性もあるということだ。

そして、ほぼ同時にオデッセイ統合車が出る。実はこのNXと呼ばれるミニバンは14年に出す予定とされていた。少なくとも昨年のビジネスミートینگでは14年発表予定だった。それが半年早められた。

エリシオンと統合することでライバルであるエルグランドやヴェルファイア、アルファードにも対抗することになるオデッセイ。公開されたコンセプトカーを見ると期待できる。しかも新世代ハイブリッドとなることで燃費も大きく向上する。

モーターショー直後の12月にはフィットをテーマとした新型SUVも登場する。今年1月のデトロイトショーで公開された

サイドのフェンダー回りのデザインが特徴的だ。シートアレンジにも秘密がありそうだ

## 新着情報



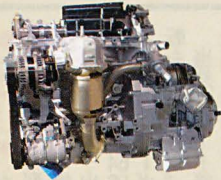
突如、上海モーターショーに登場した次期オデッセイ。社内呼称はNX。エリシオンとの統合で全高は150mm高くなるが、走る楽しさを持ったラグジュアリーミニバンになることは間違いない。

エンジンは直噴ガソリンの新開発2・4ℓが予想されているが、1〜2年後には、新型アコードに積まれる2ℓハイブリッドの発展版、2・4ℓ+モーターの新しいハイブリッドが設定される可能性もある。

全長と全幅は現行オデッセイと同等というからサイズはジャスト。

ハイブリッドは少し遅れての登場になりそう

NAモデルは2.4ℓ直噴ガソリンを積むモデルも



フィットベースで人気のコンパクトSUVを送り出す。以前あったHR-Vともいえるが、このネーミングを使うかどうかは未定。大きく見えるが、1.5〜1.8ℓの新型エンジンを搭載

## 12月 HR-V (仮称)



## 新着情報

新しく入った情報ではライフのネーミングを使うことになりそうだが、Nをどう加えるかがポイントといわれる次期モデル。新型ライフは燃費を最優先に開発されていると伝えられていた。しかし、ここに来て、「アルトエコの33・0 km/ℓを超えることはない」という関係者の証言を入手した。

ハイト系の新しいコンセプトとNシリーズ全体に流れる高品質な軽自動車として登場するということだ。そのため過剰な燃費競争には走らず、32・0 km/ℓあたりのままデビューか？

## 10月 ライフ

ライフを名乗ることが決まったといわれるが前後にシリーズ名である「N」がつけられる可能性がある。「Nライフ」となるが「N660 ライフ」か？

全高が150mm高く、ミニバンイメージが強くなる新型オデッセイの登場は以前より早まり今年秋になる。エンジンは直噴の2.4ℓ直4がメインで、後にハイブリッドも投入



## 10月 オデッセイ/エリシオン統合車

1・5ℓクラスのSUVで、世界中で人気のアンダー2ℓクラスのSUVを送り出す。かつてラインアップにあったHR-Vの復活モデルともいえるが、ネーミングに関しては今後決定していくことになるという。このSUVにも遅れてハイブリッドも設定されることになりそう。

ホンダの2013年、つまり今年は、まさに大きく前進する年になる。

# 2013



## 6月のアコードから始まる攻勢は5車種に決定

### 6月20日 アコード ハイブリッド

驚きの燃費を記録するアコードハイブリッドが6月20日にデビュー。注目の1台



なるSUVのSX、セダンのTX、そしてアコードのGXとオデッセイ/エリシオン統合車のNXと、6車種のデザインと具体的な概要、コンセプトなどが紹介された。

映し出されたこうしたニューモデル群のデザインも好評で、今年、来年に大いに期待できると意を強くしたディーラー関係

者が多かったということだ。この時説明された、商品群がそろそろデビューする。先陣を切るのはアコードハイブリッド。すでに本誌でも何度かレポートしてきたが、全長4915mmという大きなサルーンが30・0km/ℓも走るハイブリッドとして登場する。ハイブリッドのインサイトですら約27・0km/ℓあたりだから、その燃費の凄さに圧倒されるが、メイン車種は秋以降となる。

今年最も期待されるニューカーの一台がフィット。NAとハイブリッドの2車種が用意されるが、ハイブリッドはアクアを抜く燃費を誇る

9月には、待望のフィットのフルモデルチェンジがあり、それ以降、毎月ニューカーが登場する予定だ。多少デビュー時期は前後するかもしれないが、秋からの新車攻勢は層が厚い。フィットもクラスナバー1 燃費の目標を掲げるホンダの狙いどおり、JC08モードは36・0km

リアビューはボルボを思わせるデザインだ

### 新着情報

社内呼称、WXと呼ばれるという時期フィットのデビューが迫った。今回の調査で、エクステリアデザインはプロボーションが日産のノット

的であることがわかった。現行モデルより全体的にシャープな印象となるが、これまでと同じ

ように、女性ユーザーにも好感が持たれるデザインだという。全長は60mm延長され3960mmとなり、室内長はさらに長く80mm延長され1905mmあたりになるという。全幅と全高は変わらず5ナンバーサイズとなる。注目は燃費でアクアの35・4km/ℓを上回る36・0km/ℓが有力だが、あるトヨタ関係者はフィットハイブリッドの登場に合わせ、アクアの燃費の向上を発表するともいわれ、ホンダがここまで伸ばしてくるかが注目される。

ハイブリッドだけではなく、NAモデルも用意され、フィットのスタート価格は現行モデルとそれほど変わらず125万円程度から。ハイブリッドも約50万円アップの175万円程度となるハズ。新しいハイブリッドシステムは7速のDCTと呼ばれる新型ミッション+モーターで別次元の走りを見せてくれそう。



### 9月 フィット



デュアルクラッチトランスミッションにモーターを内蔵した新世代のハイブリッド

昨年11月、全国のホンダディーラー首脳を集めた、ビジネスミーティングで多くのディーラーマンはホンダの、やる気を感じたという。タイミング的に新たに投入したN-BOXが好調に推移し、フィット、フリードなどハイブリッド系の売れ行きが好調だったとあるだろうが、そこで公開された2013年のニューカー群の多彩な内容に参加者は驚かされたのだ。デビューする順番はともかく、社内の呼称でDXと呼ばれる新型ライフ、WXと呼ばれる新しいフィット、その兄弟車と

# SUPER SCOOP1 ホンダ大攻勢



EVとして開発されているコンパクトEV。こんな小さいガソリン車を研究中なのか？

**もう二車種、小さいものがある？**

今回の取材でホンダに詳しい関係者は来年もう一車種、小さいものがある」と証言している。それが燃費No.1を目指すということから、ライフよりも背の低い対アルト対抗車ということかもしれない。

場合によっては開発中のEVのガソリン仕様という可能性もあるか？

リアビューも迫力があるNSX。結構このまま出るかも



## 新着情報

本誌が「次期NSXはGTRのニクルブルクリンクを上回るタイムを狙っている」という情報を入手してから早くも半年がたつ。NSXの心臓部に関し、あるホンダ関係者は、直噴ガソリンターボでパワーは400psを軽く超える」と証言している。

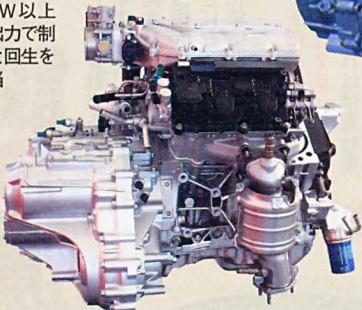
当然、これにミッションに搭載された100ps級のモーターが組み合わされるから、実質的なパワーは500psを超えるスーパースポーツとなることは間違いない。ただ、これだけでは



フロントモーターは20kW以上の出力で制御と回生を担当



レジェンド用は30kWと小さいがNSX用は60kW程度のモーターを装備か？



エンジンはV6、3.5ℓの直噴がソリタールボ。パワーは400〜450psとなる。それでも燃費は抜群にいいという

## 9月 ビート後継車



昨年の東京モーターショーに出品されたEVスターのデザインを忠実に生かした軽スポーツとするというビート後継車。エンジンは新開発の3気筒ターボ、8000回転まで回るとい

## 12月 NSX



エクステリアデザインの最終型は、今年の東京モーターショーで公開されるというニューNSX。市販は'14年末になりそうだが、何しろ注目なのはパフォーマンス。2ℓスポーツ並みの燃費とスーパースポーツ並みの性能を発揮する

なる。エンジンはV6、3.5ℓで価格は800万〜1000万円くらいが予想される。秋にはビート後継車がいよいよ登場する。ベースモデルでもタイプRのように走りになわって開発中といわれるが、エンジンは8000rpmまで回るといい、パンチのある高回転型のエンジンということだ。価格は180万〜200万円。

そして、NSX。V6、3.5ℓ直噴ターボはエンジンだけで400ps以上に達し、モーターを使うと500psを突破するといわれるスーパーハイブリッドとなる。フロント部にも30ps級のモーターをつ

け、システム出力は500ps以上。これでニクルブルクリンク最速タイムを狙うわけだが、このNSXでホンダは持っている技術力を総結集。ホンダはこれから2年のかつての力強さを手に入れる！

# 2014



## ビートそしてNSXなど続々登場する飛躍の年!!

### 4月 シティ

フィットベースの4ドアモデルがシティでハイブリッドセダン



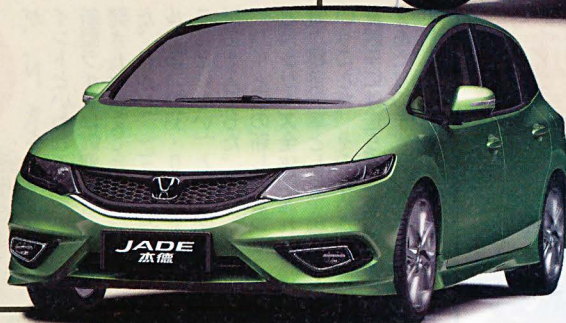
### 新着情報

昨年、北京モーターショーでコンセプトカーを見せ、今年の上旬、上海で生産型を発表したことからわかるように、ホンダはストリームを中国向けとして考えてきた。しかし、ここに来て日本市場もアベノミクス効果で多少の動きがあるとして、これをストリームとして日本にも導入することを決めたようだ。

日本仕様には新開発の1・8ℓ直噴ガソリンを採用する予定

### 5月 ストリーム

中国をメイン市場として2級7人乗りワゴンを開発されたストリームとして日本でも売られることになりそう。デザインは相当いい



### 6月 レジェンド

北米でアキュラRLXとして市販されているが、日本向けレジェンドはハイブリッドだけの設定で、NSXと共通のスポーツハイブリッドSH-AWDを採用する



ホンダにとって本格的にイメージを回復させるのがこの14年となる。技術のホンダ、革新のホンダ、そしてスポーツのホンダというホンダ創業以降のブランドイメージが復活する。

前半は13年に引き続き、量販モデルが中心となる。それでも新しいメカニズム、ハイブリッドシステムなど、新世代の技術投入したモデルが中心となる。消費税が増税となる4月前になるが微妙なところだが、第一弾はフィットベースの4ドアセダンがある。これについては何度かレポートしているが、1・5ℓハイブリッド一種の投入で、車名はシティとすることが有力。

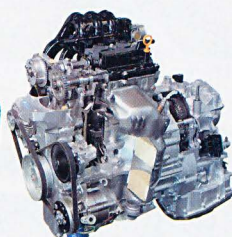
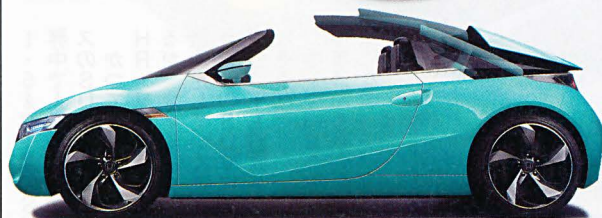
一世代前のフィットにはフィットアリアがあつたが、現行フィット発売時に、4ドアはタイ生産分を残し、日本への導入は見送られた。しかし、タイでの

### 新着情報

昨年公開された軽自動車の新エンジン、目標出力は、最高出力がNAが58

PS、ターボが64PSとなり、驚かされるのはターボが8000回転も回ることだ。

当然、ビート後継車はターボ仕様が有力で、NAモデルの設定はあまり考えないといえらる。そして注目なのはミッションだ。フィット系に使われるデュアルクラッチの7速ATの採用は、どうやら見送られ



3気筒ターボにミッションは6速マニュアルとなりそう

ルーフは樹脂製の電動トップとなるのが有力だ。ただオープン時には収納スペースの関係でリアトランクスペースはない。フロント部の収納スペースも少ないだろうが、ビートにそれは望まないはず。エンジンのパフォーマンスには充分期待できる

当面はマニュアルミッション1本で行くことが決まった。エクステリアデザインも、モーターショーでの評判がよかったことから、なるべくコンセプトカーに近づける、といったのも新着情報だ。

# HONDA アコード

新開発ハイブリッドで  
JC08=30.0km/ℓ

6月21日  
発売



9月  
登場



9月に登場する  
新型フィットの目  
玉は新開発DCT  
と組み合わされた  
ハイブリッド。  
36.0km/ℓの燃費  
を目指し価格が  
160万円から

## HONDA フィット フィットハイブリッド

新開発ハイブリッドは  
小気味いい走りが自慢!!

## HONDA ライフ

軽自動車No.1の33.5km/ℓ  
を狙う!!

予想支払い 4月以降だと  
108万円 111万円

ターゲットはムーヴで、新型ライフは  
33.5km/ℓを狙って開発されていると  
いう。 格は90万~130万円程度とリ  
ーズナブルな設定となりそうだ

予想支払い  
172万円

4月以降だと  
177万円

ライバルは  
アクア



ライバルは  
ムーヴ

10月  
登場



10月  
登場

## HONDA オデッセイ

新型オデッセイは  
エリシオンとの統合

予想支払い 4月以降だと  
392万円 404万円

10月にもデビューが予定さ  
れている新型オデッセイはエ  
リシオンと統合されて全高が1685mmとやや高くなる。パワーユニットは  
アコードと同じ 2.ℓエンジン+2 モーターのハイ  
ブリッドが搭載されることになる計画でJC08モ  
ード燃費は20.0km/ℓ程度になり、ミニバンとし  
ては脅威の低燃費となる。 格は370万円前後

ライバルは  
ヴェルファイア



## HONDA フィットベースSUV

12月  
登場

1.5ℓハイブリッドで34.0km/ℓの  
低燃費を狙う

予想支払い 4月以降だと  
230万円 236万円

今年のデトロイトショーで発表されたコンセプトカー、アーバン  
SUVコンセプトが次期フィットベースのSUVだ。9月に新型となる  
フィットとプラットフォームとパワートレ  
ンを共有し、エンジンは1.5ℓのガソリンと  
1.5ℓ+モーターのハイブリッド。HVは  
JC08モード34.0km/ℓを誇る

ライバルは  
ジューク